

Title	小特集：経済学の進路
Sub Title	序 Preface
Author	大山, 道広(Oyama, Michihiro) 津曲, 正俊(Tsumagari, Masatoshi)
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2004
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.97, No.1 (2004. 4) ,p.1- 3
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小特集：経済学の進路
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20040401-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小特集：経済学の進路

2003 年 12 月 25 日から 27 日にかけて、「経済学の進路」という共通テーマのもとに経済学会コンファレンスが行われた。

21 世紀の初頭、経済学は新しい時代の要請に直面し、また新しい分析用具の発展を背景にひとつの大きな転換点に立っている。経済発展の結果、多くの先進諸国では、さらなる量的拡大は無用となり、むしろ地球環境問題の悪化をもたらすことが憂慮されるようになった。代わって環境浄化を含む生活の「質」の改善が新しい目標として重視されている。また、情報通信革命によって、新しい市場、新しい技術の開発が可能になり、経済のグローバル化が著しく進行する中で、地域的な自由貿易協定や経済統合が増加している。過去 10 年間の日本経済に典型的に見られるように、従来型の経済成長が行き詰まり、政治、経済、法制的旧秩序が陳腐化し、その改革が多くの諸国で現実の問題になっている。他方、近年、ゲーム理論、非線形動学、複雑系など、新しい理論が発展し、経済学に取り入れられるようになった。なかでも、ゲーム理論は新しい研究領域（産業組織、企業組織、国際貿易、政治経済学、法と経済学など）の開拓に大きく貢献している。このコンファレンスでは、塾内外の研究者に呼びかけ、こうした経済学の現状を展望すると共にこれからの経済学の課題と進路について検討しようとするものであった。

以下のプログラムに示されているように、このコンファレンスには、「経済学の進路」をトする 14 篇の論文が報告された。その中から、5 篇を選んでこの小特集に収めることとした。他の 9 篇は、嘉治佐保子・柳川範之・白井義昌・津曲正俊編『経済学の進路 地球時代の経済分析』（慶應義塾大学出版会）に収録され、すでに出版されている。

大 山 道 広

（名誉教授）

津 曲 正 俊

（経済学部助教授）

プログラム

12月25日

午後

	報告者	報告論題	座長	討論者
13:30—14:20	玉田康成	Specialization in Expertise	川又邦雄	津曲正俊
14:20—15:10	大東一郎	経済発展の動学分析：均衡の不決定性の視点から		柳瀬明彦
15:30—16:20	福島淑彦	Active Labor Market Programmes, Education and Unemployment		塩澤修平
16:20—17:10	菊地 徹	コミュニケーションネットワークと国際貿易		竹森俊平

12月26日

午前

	報告者	報告論題	座長	討論者
9:30—10:20	柳瀬明彦	グローバル化の進展と環境政策	丸山 徹	細田衛士
10:20—11:10	蓬田守弘	グローバル化と競争政策		木村福成
11:10—12:00	石橋孝次	Effects of Asymmetric Information within a Firm on Oligopolistic Market Outcomes		玉田康成

午後

	報告者	報告論題	座長	討論者
13:30—14:20	嘉治佐保子	日本経済の安定とデフレーション	馬田啓一	山本美樹子
14:20—15:10	木村福成	国際貿易理論の新たな潮流と東アジア		馬田啓一
15:30—16:20	中神康博	財政錯覚は存在するか		中村慎助
16:20—17:10	若杉隆平	地域貿易協定と非加盟国の貿易利益 ——Ohyama の命題と実証分析——		和気洋子

12月27日

午前

	報告者	報告論題	座長	討論者
9:00—9:50	津曲正俊	政治制度の経済分析——契約理論からのアプローチ	唐木圀和	柳川範之
9:50—10:40	柳川範之	契約のエンフォースメントと経済活動		石橋孝次
10:40—11:30	大山道広	部分的自由貿易協定と経済厚生 ——Kemp-Wan 定理を超えて——		大東一郎

出席者一覧（50音順，敬称略）

石橋孝次	慶應義塾大学助教授
馬田啓一	杏林大学教授
大山道広	東洋大学教授，慶應義塾大学名誉教授
嘉治佐保子	慶應義塾大学教授
唐木罔和	慶應義塾大学教授
川又邦雄	慶應義塾大学教授
菊地 徹	神戸大学大学院助教授
木村福成	慶應義塾大学教授
塩澤修平	慶應義塾大学教授
大東一郎	東北大学大学院助教授
竹森俊平	慶應義塾大学教授
玉田康成	慶應義塾大学助教授
津曲正俊	慶應義塾大学助教授
中神康博	成蹊大学教授
中村慎助	慶應義塾大学教授
永田長生	新潟大学講師
福島淑彦	名古屋商科大学助教授
細田衛士	慶應義塾大学教授
丸山 徹	慶應義塾大学教授
柳川範之	東京大学大学院助教授
柳瀬明彦	高崎経済大学講師
山本美樹子	獨協大学助教授
蓬田守弘	一橋大学専任講師
若杉隆平	慶應義塾大学教授
和気洋子	慶應義塾大学教授